

貯水タンク	構造及び材質は、建築基準法施行令に定める基準による。						
		設置位置	貯水容量	備考			
	受水槽	屋内階	× ×				
		屋外	m ³ 基				
	高置水槽	屋内階	× ×	地上からの高さ m			
		屋外階上	m ³ 基	最高位水栓からの高さ m			
	中間水槽	屋内階	× ×	地上からの高さ m			
屋外階上		m ³ 基	最高位水栓からの高さ m				
副受水槽		m ³					
消火用水槽		m ³					
量水器	計量方式	直結直圧方式	一括計量	量水器口径 mm			
				専用住宅	非住宅	共用	非常用
		各戸計量	mm 個	mm 個	mm 個	mm 個	
			mm 個	mm 個	mm 個	mm 個	
			mm 個	mm 個	mm 個	mm 個	
	方式	受水槽方式	一括計量	量水器口径 mm			
				専用住宅	非住宅	共用	非常用
		各戸計量	mm 個	mm 個	mm 個	mm 個	
			mm 個	mm 個	mm 個	mm 個	
			mm 個	mm 個	mm 個	mm 個	
設置方法	設置方法は、給水装置等の設計施工事務取扱要綱第4章第4節「量水器」に定める基準による。						
	地中埋設	階			個		
	居室側壁埋込	階			個		
	シャフト内	区分	<input type="checkbox"/> 水道専用 <input type="checkbox"/> 共用格納				
		扉の開口部	幅 mm × 高さ mm				
* 空間形状図及び寸法を添付すること。							
給水装置	分岐引込管	分岐引込管口径は、計画使用水量に対し、管内流速2.0m/秒以下となるように決定する。					
		配水管からの分岐管	管種	口径mm			
		直結直圧方式への分岐管	管種	口径mm			
		受水槽方式への分岐管	管種	口径mm			
	定水位弁等	・呼び径 mm	・型式	開閉方法(電磁弁・その他)			
	定流量弁	・呼び径 mm	・型式	設定流量 L/分			
ポンプ設備	・呼び径 mm	・揚水量	L/分	・全揚程 m			

貯水タンク容量計算書

使 用 水 量	種 別	使用人員・面積等	1日単位当り使用水量	平均使用水量(ℓ/日)		
	クーリングタワー 補給水量			ℓ/日		
	そ の 他 補給水量			ℓ/日		
	合 計 (1日平均使用水量)			m ³ /日		
消 火 用 水 量				m ³		
水 槽 の 貯 水 容 量	受水槽			縦 横 深さ × × m ³		
	高置水槽			縦 横 深さ × × m ³		
	副受水槽			m ³		
給 水	配水管口径	mm	1日平均使用時間	時間		
	配水管水圧 (午前9時)	MPa (kgf/d)	ボールタップ給水量	m ³ /時		
	引込管口径	mm	定流量弁設定流量	m ³ /時		
	ボールタップ口径	mm				
揚 水	口 径	揚水量	揚 程	電 動 機	台 数	運 転 方 法
	mm	ℓ/分	m	k w	台	手動 自動 自動 切替 交互 同時
備 考						

水 理 計 算 書 1

$$\begin{aligned}
 \text{給水装置必要圧力 } P_0 &= P_1 + P_2 + h \\
 \text{MPa} &= (\quad \text{m} + \quad \text{m} + \quad \text{m}) \div 101.972 \\
 &\leq \text{設計水圧 (} \quad \text{MPa)}
 \end{aligned}$$

P_1 : 配水管の分岐箇所から最高位などの最悪の条件にある給水器具までの圧力損失
 (次ページ参照) _____ m

P_2 : 最高位などの最悪の条件にある給水器具を使用するために必要な圧力
 対象給水器具 (品名) _____ m

h : 配水管の分岐箇所と最高位など最悪の条件にある給水器具の高低差
 配水管から路面の高さ 路面から宅地地盤の高さ 宅地地盤から最高位水栓等の高さ
 (m) + (m) + (m) = _____ m

配 水 管	管種 :	設計水圧 (MPa) = (実測水圧) - 0.05 MPa * 設計水圧は、0.30 MPa を上限とする。
	口径 : mm	
	実測水圧 : Mpa (令和 年 月 日測定)	

配管立体図
 (給水主管損失水頭計算略図)

(居室内損失水頭計算略図)

